

2010年 6月 23日



国内向け“ブルーレイ 3D”ソフトの制作・生産サービスを開始
～オーサリングからパッケージングまで、コンテンツの 3D ソフト化を一貫サポート～

株式会社ソニーDADC ジャパン（以下、DADJ）とソニーピーシーエル株式会社（同、ソニーPCL）は、“ブルーレイ 3D”ソフトの国内向け制作・生産サービスを7月1日から開始します。ソニーPCLによる制作（エンコードやオーサリング^{*1}など）から DADJ 静岡工場でのディスク製造やパッケージングまで、両社が連携して一貫したプロセスを構築することで、拡大が期待される 3D 市場での“ブルーレイ 3D”ソフトの普及を積極的にサポートします。



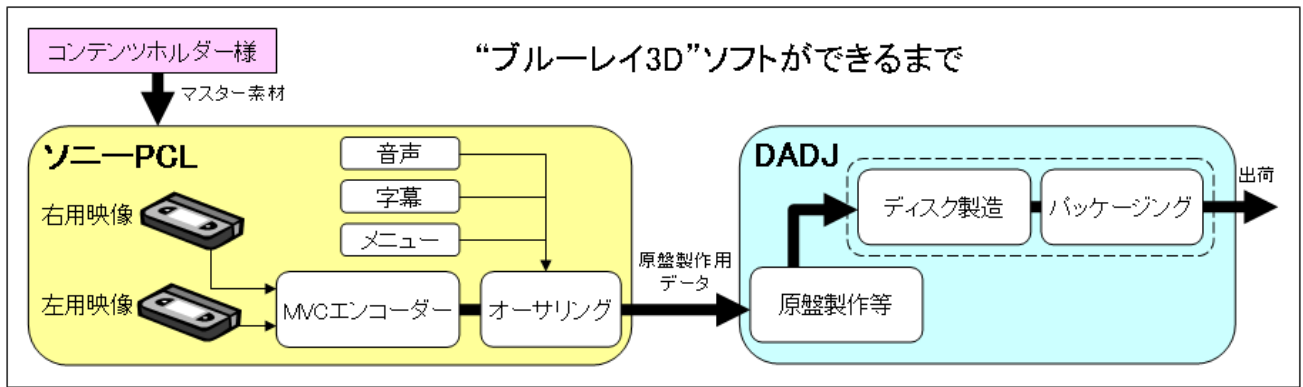
（写真左）3D 対応“ブルーレイ”オーサリングシステム：ソニーPCL （写真右）“ブルーレイ”ソフト生産ライン：DADJ

家庭用 3D 対応テレビの発売とともに、3D コンテンツを高画質な HD クオリティでご家庭にお届けできる“ブルーレイ 3D”ソフトへの期待がますます高まっています。

今回、ソニーPCL では、マスター映像の品位を保ちながら高画質に 3D 圧縮する MPEG-4 MVC^{*2} エンコーダーや 3D 対応オーサリングソフトウェアなど、ソニーグループで開発された技術を導入した“ブルーレイ 3D”オーサリング環境を新たに構築しました。国内における“ブルーレイ 3D”ソフトの「原盤製作用データ」制作サービスを開始することで、国内コンテンツの“ブルーレイ 3D”化を積極的にサポートします。

DADJ では、原盤製作プロセスの 3D 対応を行うとともに、“ブルーレイ 3D”ソフトの製品検査体制などを新たに導入しています。これにより「原盤製作用データ」を使った原盤製作からディスク製造、パッケージングまで、“ブルーレイ 3D”ソフトの生産を静岡工場内で一貫して行うことが可能です。なお、“ブルーレイ 3D”ソフトのディスク製造は、従来の“ブルーレイ”ソフト（2D）生産で使われている設備をそのまま利用することができます。

両社は、これまでも DVD ソフトや“ブルーレイ”ソフト、UMD[®]Video などの制作・生産で密接な連携体制を構築しています。“ブルーレイ 3D”ソフトの制作・生産においても、それらを一層強化させることで、国内コンテンツの 3D 対応を両社一体となってサポートしてまいります。



【これまでの“ブルーレイ”ソフトへの取り組み】



ソニーPCLは、2006年7月に国内初となるBDオーサリングスタジオ（東京都品川区）をオープン、2009年9月にはその制作能力を倍増するなど、国内業界における先駆者として積極的に作品の“ブルーレイ”化に取り組んでおり、これまでに国内における500作品以上（2010年5月末時点）のオーサリングを手がけています。また、20年以上にわたる豊富な3D制作経験をもとに、様々な3D作品の撮影や編集も手がけています。

写真は、BDオーサリングスタジオのプレビュールーム



DADJは、2006年7月に国内初となる“ブルーレイ”ソフト生産ラインを静岡工場（静岡県榛原郡）に構築し、ソニーグループ内外の様々なソフトを量産、国内における最大規模のBD生産拠点として、これまでの累計出荷数は2000タイトル以上、約2000万枚（2010年5月末時点）にのびます。

写真は、ディスク製造工程の一部

※1：オーサリング：

ディスクに記録する映像や音声、字幕、メニューなどのデータを統合し、再生時に各データが仕様どおりに機能するようにするためのプロセス。

※2：MPEG-4 MVC：

従来の“ブルーレイ”（2D）でも用いられている圧縮技術MPEG-4 AVC/H.264の拡張規格で、MVCはMultiview Video Codingの略。より効率的な圧縮により、2Dの場合に比べて50%程度の容量増で3D映像を収録することができる。

・“Blu-ray（ブルーレイ）”、“Blu-ray Disc（ブルーレイディスク）”、“Blu-ray 3D（ブルーレイ 3D）”および“**3D**”は、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
 ・“UMD”は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

【お客様からのお問い合わせ先】

(株)ソニー DADC ジャパン	東京事業所	電話：03-3492-9667
ソニー PCL(株) [映像系コンテンツ窓口]	営業部門 営業部	電話：03-3492-9064
(株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ [音楽系コンテンツ窓口]	パッケージメディアカンパニー RM 営業部	電話：03-3266-7824